

ワンコイン検査 体験レポート



広報担当しまのが体験してきました！

健康診断を受けてみたいけど、なかなか時間がない、決心がつかない…という方、まずは気軽にできる「ワンコイン検査」はいかがでしょうか？私も今回思い切って体験してきました！

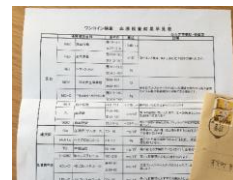
①受付で「ワンコイン検査を受けたいです」と声をかけ、簡単な申込書に希望する検査項目などを記入。私はお得な「6項目セットメニュー」を希望。



②料金を支払ったら、外来で採血し、採尿室で採尿して終了。久々の注射で不安でしたが優しく対応して頂き、ホッ！



③検査結果は、数日後に郵送されます。問題の貧血は基準値内！！中性脂肪と尿酸値が高かったのが気を付けます…。トホホ。



体験してみても…



とてもスムーズに終了しました。本格的な検査を希望するなら「すこやか健診」がお得でおすすめだったので、今年40歳の誕生日に受けてみようと思います。

すこやか健診の日程・内容・費用については、まずは電話で相談すると丁寧に対応して頂けます。自分の健康を大切にするためにも多くの方に受けて頂きたいとのことでしたので、まだ受けていないという方はぜひご検討されてみてくださいね。 ■お申込・お問合せ 公立芽室病院：☎62-2811

ワンコイン検査

平日午後1時半～4時、病院窓口にて随時受付。血糖値や尿酸値などの検査メニューが選べ、検査費はそれぞれ500円。6項目セットだとお得な2000円。詳しくは町広報すまいる2月号の病院だよりをご覧ください。

会員募集中！随時募集しています

会員数(3月1日現在) ・一般会員 172名 ・団体会員 1団体 ・法人会員 9法人
★年会費 1,000円
★問い合わせ 62-1439(会長宅) 62-2516(事務局) 公立病院事務室でも入会できます

～編集後記～

今回の取材では多くの方にお話を伺うことができました。この場をお借りして、ご協力に感謝申し上げます。めむろ有志の会の皆さんが芽室町のために尽力してくださっていること、芽室中学校生徒会の皆さんが主体的にいきいきと活動されていること、病院スタッフさんが「より多くの方に健診を受けて頂くには？」と日々悩み考え工夫されていること・・・等々を知り私自身にも多くの気づきがありました。良い刺激をたくさん頂きましたので、これからも小さくとも自分にできることを探していきたいなと思います。(嶋野)

支える会 つうしん



公立芽室病院をみんなで支える会広報

第12号 2021年3月発行

公立芽室病院ホームページ内
<https://memuro.com/>

令和2年度を振り返って

会長 鳥本 ヒサ子

令和2年は、世界規模での新型コロナウイルス禍にみまわれ、あらゆる面で行動の制限・自粛生活を余儀なくされる1年でありました。定期総会も書面で承認いただき、医療講演会の中止など、活動自体も縮小せざるを得ない我慢の年になりました。

環境整備の方は、従来通り病院周辺の花壇にベゴニア・マリーゴールドを植え手入れしてきましたが、6月の植栽と9月の片付けには会員のほか病院からも、研谷院長はじめ多数の職員・家族の方の参加を頂き無事終わることができました。今年は植栽直後からの高温続きで水やりが大変でしたが、3密が避けられる屋外の作業なので、丹精込めて手入れさせていただきました。

病院の皆さんありがとう！頑張っ！の心を込めて…

新型コロナウイルスの感染では、芽室病院でも12月末に集団感染が報告されましたが、めむろ安心メールや病院からのお手紙で、正しい情報がいち早く届いたことが、私たちの不安を最小限にとどめることにつながりました。そして短期間に12人で収束したことに安堵していたのですが、残念ながら二度目のクラスター発生となってしまいました。一日も早い収束を願っておりますが、命がけで感染対応に当たっている現場の皆様には、どうかくじけずこの苦境を乗り越えて頂けるようお願いばかりです。

ワクチンの先行接種も始まりましたが、全体に行き渡るまでにはまだ時間がかかりそうなので、一人一人が感染防止の行動を継続することはとても重要です。令和3年度の「支える会」の活動も従来通りできるかどうかまだ見通せない状況にありますが、工夫をしながらできることは続けて行きたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

令和3年度 定期総会のお知らせ

日時：4月23日(金) 18時～20時 場所：芽室町公民館 講堂

< 総会終了後の講話について >

演題「新型コロナの院内感染の経過とワクチン接種について」

研谷 智 院長

※詳しい内容は、後日改めて文書を送付いたします。新型コロナウイルス感染予防対策を講じて開催を予定していますが、場合によっては中止する可能性があります。

♡♡♡♡♡
めむろ有志の会
 の取り組み
 ~ハートフルプロジェクト~
 ♡♡♡♡♡



新聞報道等でご存知の方もいらっしゃると思いますが、若手の農業者、商工業者、役場職員等の皆さんが中心となって「めむろ有志の会」を結成し「ハートフルプロジェクト」と題し、飲食業者と医療従事者の皆さんに支援を行うという活動が行われています。（飲食業者支援金の募集は3/10に終了。）
 公立芽室病院に対する応援メッセージ等の取り組みは、私たち支える会にとっても嬉しいニュースとなりました。今回は「めむろ有志の会」の方々、そして応援メッセージ企画に参加した芽室中学校の生徒会長吉澤さんにお話を伺ってきましたのでご紹介します。

◆めむろ有志の会（代表 竹内佑太郎さん、藤川純さん）にお聞きしました。

Q、この活動を始めようと思ったきっかけや想いなど教えてください。

コロナ禍で今まで利用していた飲食店さんなどが困っていることを知り、自分たちにも何か出来ないかと思いつながりがあった職場の方や役場の方などに声をかけてみたところ、すぐに賛同してくれました。そこから広がっていき、「飲食業者の皆さんへの資金支援」と、「飲食業者および医療従事者の皆さんへの心の支援」の2本柱で活動がスタートしました。帯広信用金庫さんの協賛として、「わがまち基金」（日本財団）を活用させて頂けたことも大きな力になっています。

Q、今回、芽室の子どもたちにも協力を呼び掛けたんですね。

「オールめむろ」で取り組みたいという想いから、子どもたちにも関わって頂きました。心の支援を行う方法については色々な案が出たのですが、応援したいという気持ちがどうしたら一番伝わるかを考えて進めてきました。

Q、地域の皆さんへメッセージをお願いします。

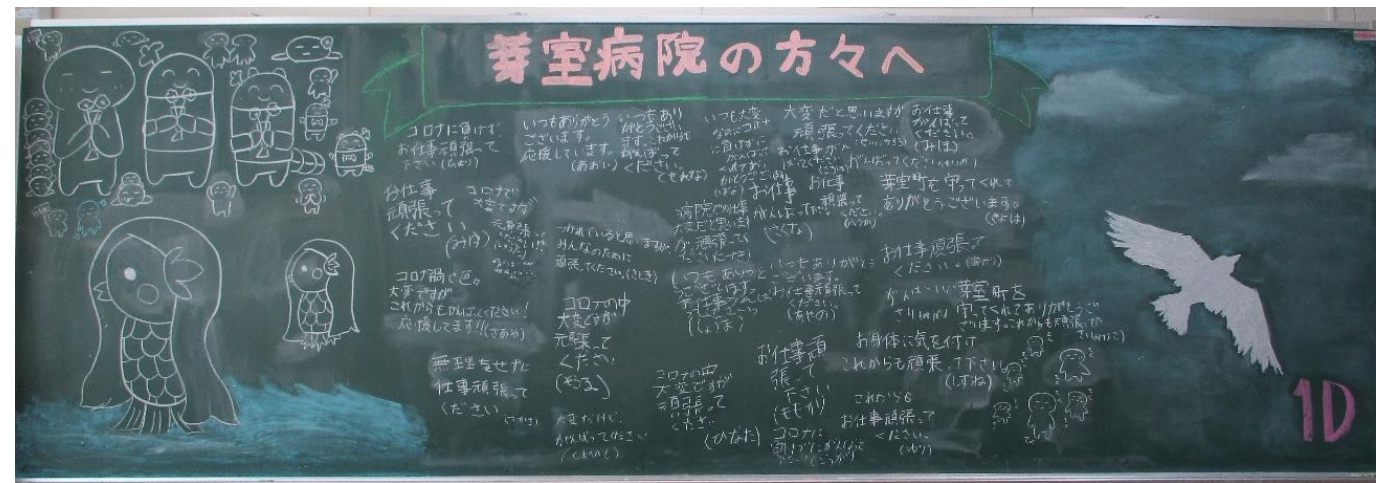
同じ芽室町民として「大変な思いをされている方々を応援したい」という想いをお持ちの方が他にも多くいらっしゃるのではと思っています。ハートフルプロジェクトという名前に込めたように、その純粋な気持ちが今回の発信源となっています。賛同される地域の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。



◆芽室中学校の生徒会長 吉澤涼羽さんにお聞きしました。
 （芽室中学校では、千羽鶴と黒板アートで応援メッセージを贈る取り組みを行いました）

Q、今回の取り組みを行っての感想を教えてください。

今回、芽室中学校としても初となる「医療従事者の方々へ向けての支援」という取り組みを僕たち生徒会が中心となってやらせていただきました。千羽鶴に関しては、作り方が分からずに、苦戦している生徒が多いように感じられました。実際僕も2時間かけて1つも折れませんでした。だけど、なかなか完成度の高いものが多く、つなげている時も楽しんでできました。黒板アートは、生徒会のメンバーが案を出してくれました。3年生は受験の関係で描いていませんが、1・2年生がその分も気持ちを込めて頑張ってくれたと思います。クラスによっては本当にレベルの高いものを作り上げてくれ、一人ひとりが気持ちを込めてメッセージを書いてくれました。結果的にはこの取り組みを行って良かったと思いました。この活動が少しでも医療従事者の方々への支えになることを心から願っています。



子ども達が描いた黒板アートによる応援メッセージや千羽鶴は、クラスター収束後に公立芽室病院にお渡しする予定だそうです。

♡♡♡♡♡
支える会の取り組み
 ♡♡♡♡♡



コロナ渦の中で、大変なご苦労をされている公立芽室病院の職員の方々を支える会からも感謝と応援の気持ちを伝えたい！との声が上がりました。「どのような形で伝えたらいいのだろう？」と模索していた所、村上建設様のご支援とご協力を頂き、メッセージ付きの看板を設置する運びとなりました。

場所は、病院正面入口に設置されていますので、お近くを通った際にはご覧ください。この看板を通じて、病院を応援して下さる方が増えることを願います。

